

# 1 川越線のご利用状況の推移

- (1) 平均通過人員の推移
- (2) 各駅の乗車人員の推移

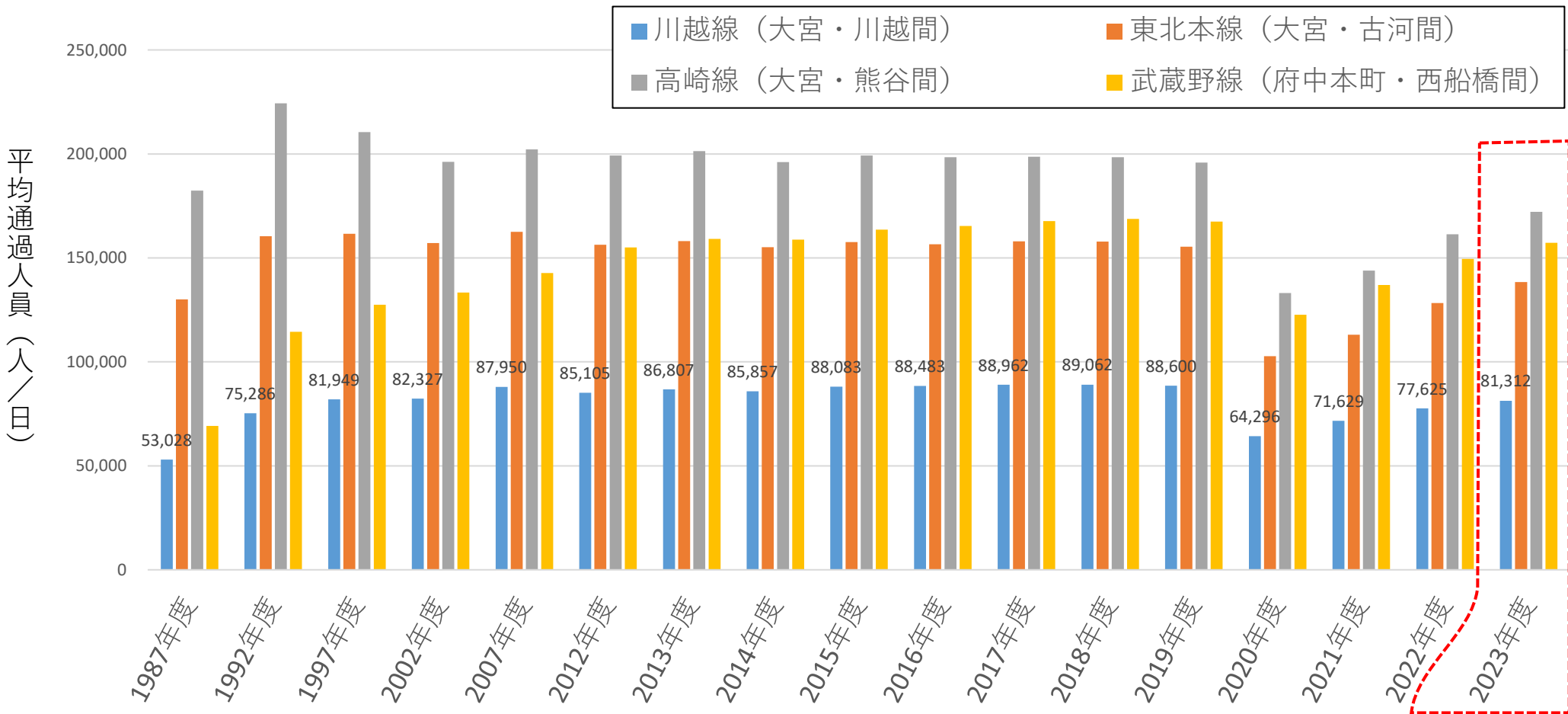
# 2 羽田空港アクセス線（仮称）の状況

- (1) 東山手ルートおよびアクセス新線の計画概要
- (2) 経緯と前回会議以降の進捗
- (3) 高輪築堤等の調査・保存について

東日本旅客鉄道株式会社  
大宮支社 経営戦略ユニット  
2024年7月26日

# 1. 川越線のご利用状況の推移 (1)平均通過人員 (人/日) の推移

平均通過人員とはご利用されるお客さまの1日1kmあたりの人数を表し、以下の計算により算出しています。  
**【平均通過人員】 = 【各路線の年度内の旅客輸送人キロ】 ÷ 【当該路線の年度内営業キロ】 ÷ 【年度内営業日数】**

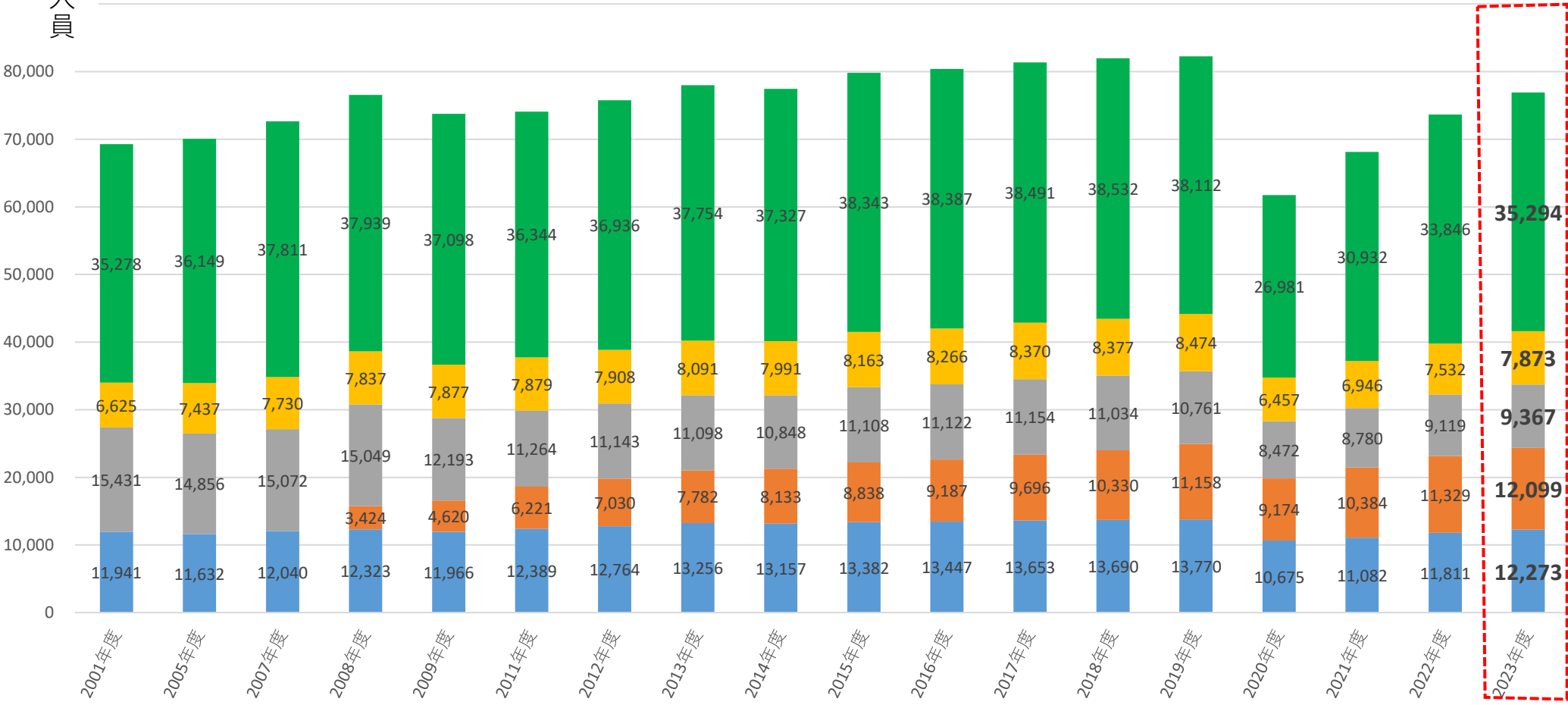


**川越線の利用状況の推移 (2023年度 : 81,312人/日 対前年+3,687)**

- ・ コロナ禍により大きく減少したご利用者数は徐々に回復し、2017年度比で91%の結果となりました。
- ・ 他の線区との比較では武蔵野線(94%)より低いものの、東北線(88%)や高崎線(87%)より高くなっています。

# 1. 川越線のご利用状況の推移 (2)各駅の乗車人員（人/日）の推移

（人／日）  
駅の乗車人員



## 各駅の乗車人員の推移

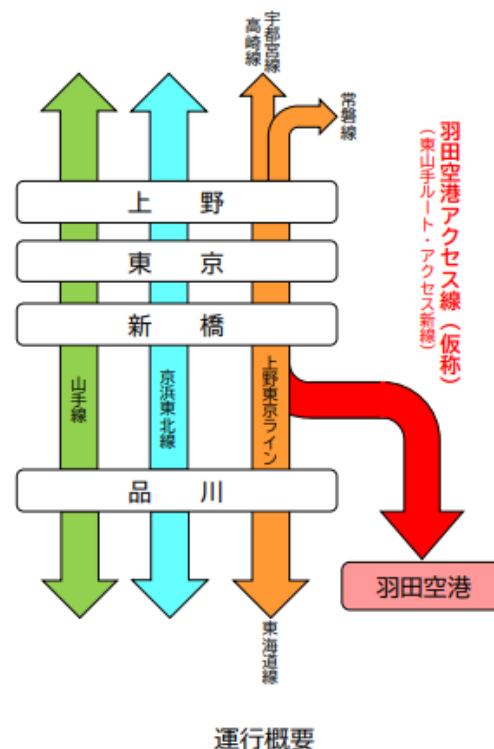
・ 西大宮駅の乗車人員（12,099人）はコロナ禍前のより増加。まちづくりの効果と推定できます。

## 2.羽田空港アクセス線（仮称）の状況

### (1)東山手ルートおよびアクセス新線の計画概要

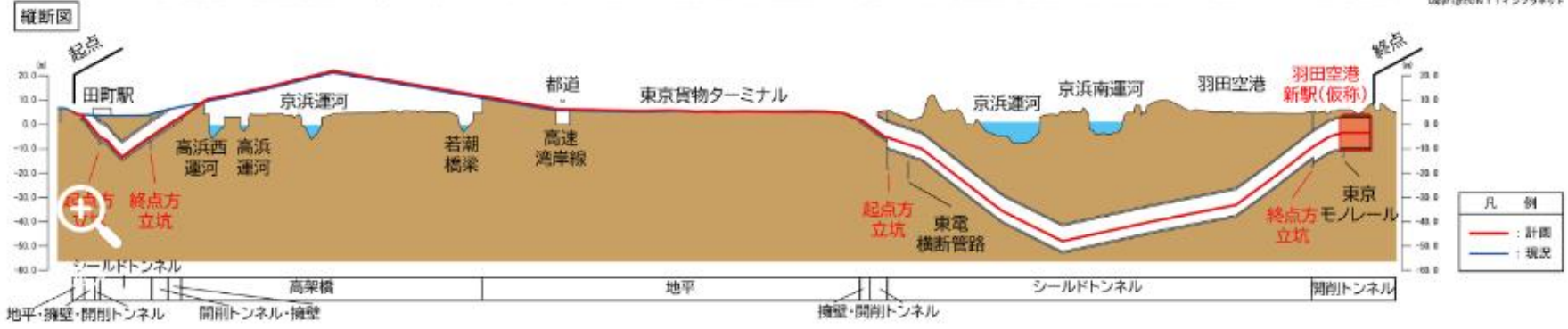
- 「東山手ルート」および「アクセス新線」は、現在休止している大汐線の橋りょうや高架橋などの既存ストックを有効活用し、東京駅と羽田空港の直結、宇都宮線・高崎線・常磐線方面からの所要時間短縮や乗換解消・低減など広範なエリアからの空港アクセスを改善します。
- 東京駅から羽田空港へは、現在、鉄道を利用した場合 30 分程度要するところ、乗り換えなく約 18 分で到着することが可能となります。

東山手ルート  
アクセス新線



# 2. 羽田空港アクセス線（仮称）の状況

## (1) 東山手ルートおよびアクセス新線の計画概要



羽田空港アクセス線 平面・断面図



## 2.羽田空港アクセス線（仮称）の状況

### (1)東山手ルートおよびアクセス新線の計画概要

項目	概要
工事区間	起点：港区芝浦一丁目、終点：大田区羽田空港三丁目
工事延長	約12.4km
構造形式	トンネル（シールドトンネル、開削トンネル）、高架橋、地平、擁壁（掘割）
対象駅（停車駅）	羽田空港新駅（仮称） [駅構造：複線地下式 島式プラットフォーム1面2線]
概算工事費	約2,800億円※
開業予定	2031年度

※概算工事費には、国の空港整備事業のうち、JR 東日本に関係するトンネル本体などの工事費（約 700 億円）を含む。

## 2.羽田空港アクセス線（仮称）の状況

### (1)経緯と前回会議以降の進捗

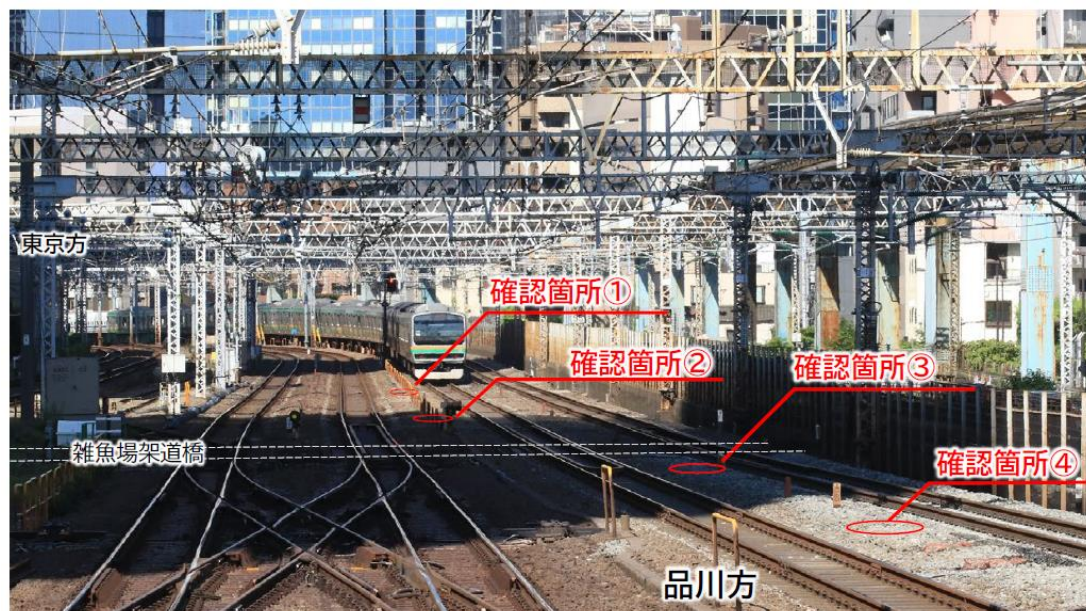
2014年8月	交通政策審議会小委員会で羽田空港アクセス線構想を公表
2015年7月	東京都広域交通ネットワーク検討委員会にて「整備について優先的に検討すべき路線」に位置づけ
2016年4月	交通政策審議会答申第198号「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」において、「国際競争力の強化に資する鉄道ネットワークのプロジェクト」に位置づけ
2018年7月	JR東日本グループ経営ビジョン「変革2027」にて羽田空港アクセス線構想の推進を公表
2019年5月	東京都知事に環境影響評価調査計画書を提出
2021年1月	国土交通大臣より「アクセス新線」の鉄道事業許可を取得
2021年7月	東京都知事に環境影響評価書案を提出
2021年8月	環境影響評価書案の地元説明会を実施
2022年7月	東京都知事に環境影響評価書を提出
2023年1月	関東運輸局より「東山手ルート」における鉄道施設変更認可を取得
2023年3月	国土交通大臣より「アクセス新線」における工事施行認可を取得
2023年4月	羽田空港アクセス線（仮称）の本格的な工事に着手することを公表
2023年6月	「東山手ルート」および「アクセス新線」における工事の起工式を挙げる
2024年4月	羽田空港アクセス線（仮称）における高輪築堤等の調査・保存について公表

## 2. 羽田空港アクセス線（仮称）の状況

### (3) 高輪築堤等の調査・保存について

◆羽田空港アクセス線（仮称）の工事着手前の試掘調査（2022年7月～2023年6月）において、高輪築堤の石積が確認されました。

◆2023年8月より高輪築堤調査・保存等検討委員会が開催され、遺構への影響軽減検討および調査・保存の方針を検討してきました。



確認箇所写真(田町駅ホームから東京方を望む)



確認箇所②の状況(上面から撮影)



## 2.羽田空港アクセス線（仮称）の状況

### (3)高輪築堤等の調査・保存について

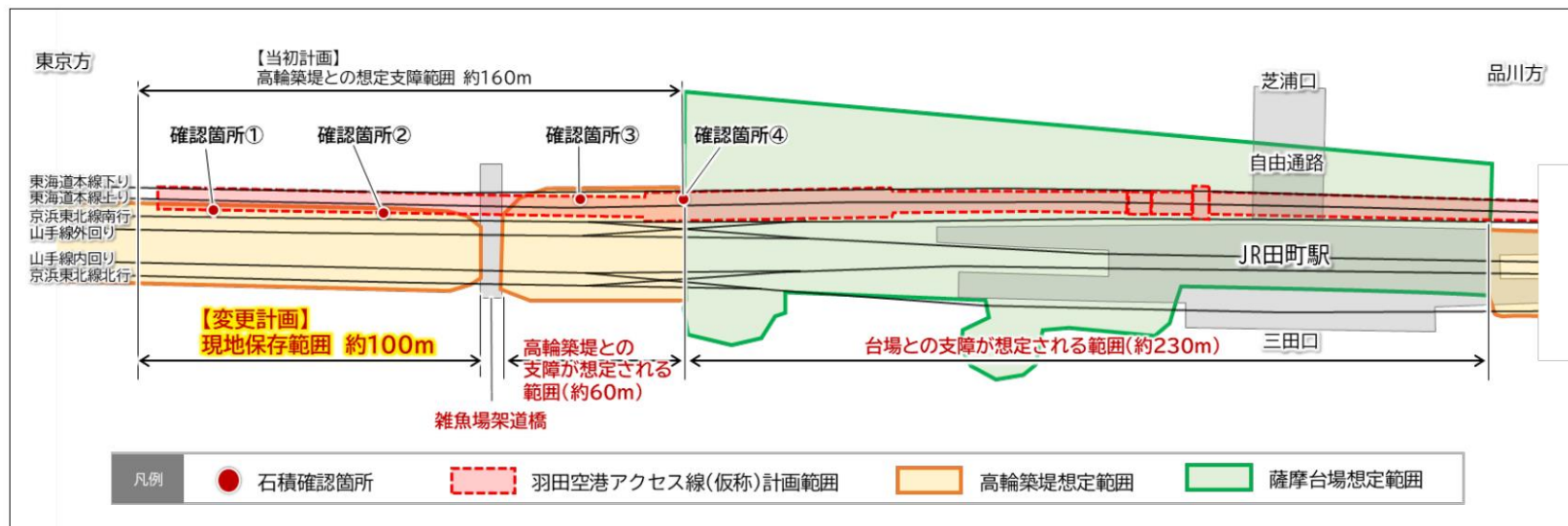
#### ◆委員会の方針を踏まえた当社の取り組み

##### (1) 現地保存

羽田空港アクセス線（仮称）の下り勾配の開始地点を当初計画より約100m品川方に変更することによって、東海道線の線路下に存在すると想定される高輪築堤の一部を現状のままで保存します。

##### (2) 記録保存

羽田空港アクセス線（仮称）に支障する範囲の遺構（高輪築堤、薩摩台場等）については、工事を進めながら、考古学・鉄道史・土木史などの諸分野の知見に基づき、慎重かつ丁寧な記録保存調査を進めます。



工事計画略図

#### ◆羽田空港アクセス線（仮称）の計画変更について

高輪築堤の一部現地保存に向けて、羽田空港アクセス線（仮称）の線路縦断線形の計画変更を行うために、環境影響評価手続きや工事計画の変更手続きを関係行政と連携して進めます。